

4月の配架図書（その1）

■ ともだちのたね

森沢明男／さく 加藤美紀／え

出版社：東京地図出版 （**低学年**から）

おまえの胸の奥にある小さな友だちのたねを育ててごらん…。子どもが読めばにっこにこ、おとなが読めばほっかほか。みんながシアワセになるための大切なヒントが描かれている、深い余韻を残す感動の絵本。

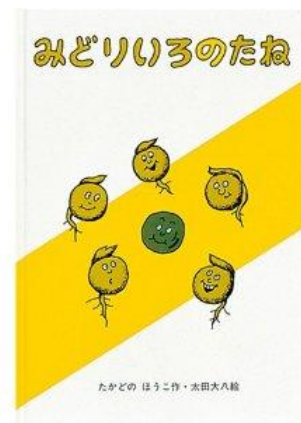


■ みどりいろのたね

たかどのほうこ／作 太田大八／絵

出版社：福音館書店 （**低学年**から）

まあちゃんたちのクラスでは、畑に種をまくことになりました。ところがまあちゃんは、種といっしょにメロンあめを一粒一緒にうめてしまいました。土の中では種とあめが大げんか



■ ことばのこぼこ

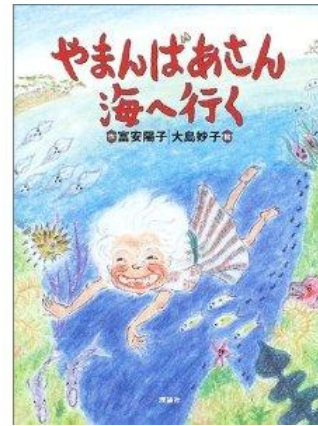
和田誠／作 出版社：瑞雲舎 （**低学年**から）

しりとり、句読点遊び、回文、かぞえうた、なぞかけなど、18種類のことばあそびを、軽妙なタッチのイラストで楽しむ大型絵本。



- やまんばあさん海へ行く
富安陽子/作 大島妙子/絵
出版社：理論社 （低学年から）

やまんばのやまんばあさん、145、6 歳さいの時、初めて海にやってきた。すると嵐になって、漁師たちの乗った舟はしずみそう。なかよくなった漁師を助けようと、やまんばあさんは逆巻く波の中へ。「やまんばあさん」シリーズはほかに4 さいつあるよ。



- イグアナくんのおじやまな毎日
佐藤多佳子/作 はらだたけひで/絵
出版社：偕成社 （高学年から）

徳田のジジイはあたしに約束した。誕生日には「生きている恐竜」をくれるって。でも、持ってきたのはイグアナ。1メートルくらいのトカゲだ。こいつを世話するため毎朝6時に起きなきゃいけない。なんで、あたしが？ ああ、ヤだ。ヤだ。



- ペンギンたちに会いたくて
わたしの南極研究記
加藤明子/著 出版社：くもん出版
（中学生から）

ペンギンに引きずられたり、ゾウアザラシによだれをかけられたり、動物調査では何が起こるかわからない…。最新の技術などを紹介しながら、女性研究者がペンギンの調査、出会ったほかの動物たちのこと、そして南極について語ります。

